



問

各家庭における省エネの推進について伺う
 今後も、とうかい環境村民会議等と啓発活動を推進

公明党 植木 伸寿 議員

議員 各家庭で行う省エネ等についてどう推進しているのか伺う。

村民生活部長 住宅用太陽光発電システムは、これまで累計910件、昨年度も112件を補助した。さらに近年、太陽熱利用機器や雨水貯水タンクも補助メニューに追加している。周知はイベントを通じ事業者と連携を図り啓発に努める。

議員 今年も、とうかい環境フェスタが開催されるので周知に努めてもらいたい。また村が掲げる低炭素社会の実現に向けた仕組みづくり等について伺う。

村民生活部長 一般家庭でのCO2排出量削減目標は、一昨年度も目標を上回る成果が出ているが、今後排出量の増加が見込まれる要因があるため、さらなる取り組みも考えたい。



環境フェスタ

議員 村は、街灯のLED化もやっている。これに伴うCO2排出量削減はどの程度進んだのか。

村民生活部長 前年度と比較すると約78・9%が削減できたと考えている。

議員 家庭用照明のLED化を推進するため、設置工事等への補助の仕組みをつくってはどうか。商工会とも連携し検討を求めたい。



問

この時期に『歴史と未来の交流館』建設は必要か
 村の歴史や文化遺産（遺物）保存のため必要

光風会 江田 五六 議員

議員 今もなお施設建設を疑問視する多くの村民の声が寄せられている。村民にとって優先すべき課題が山積している状況での施設建設の必要性について伺う。

教育次長 村内の歴史や文化の普及啓発活動等に積極的に関わっている方からも、施設整備を望む声がある。

議員 これまでも、芸術の森公園（旧動燃隣）・ふるさと伝承館（石神城址跡）・生涯学習センター構想（役場隣）が検討された。なぜ実現しなかったのか伺う。

教育長 広大な計画や建設費など、諸般の事情により実施しなかったのではないか。

※ 本来、文化遺産の保存と展示は異なるものである。展示については、現在ある公施設での展示企画の実施を提案する。

我が国の人口は長期的には急減する

